

テーマ：

記憶を記録へ

～デジタルアーカイブを活用した

阪神淡路大震災の語り継ぐための取り組み～

講師：
ふじもと しんいち
藤本 真一 氏

【NPO 法人「阪神淡路大震災 1.17 希望の灯り」代表理事】

日時：6月14日（木） 13：30～15：00

場所：関西学院大学・神戸三田キャンパス
VI号館 201教室

主催：総合政策学部研究会・総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム

【※アーカイブデザイン（担当：津田）の振替授業とします】

講師紹介

【略歴】

昭和59年4月、神戸市北区生まれ。

平成21年、関西学院大学大学院総合政策研究科（メディア情報学専攻）修了後、家業の有限会社の専務に就任。

平成23年3月11日、津波で街が流されているテレビの映像を見て「何かお手伝いがしたい」との思いで、偶然にホームページで見つけたNPO法人「阪神淡路大震災1.17希望の灯り」の東日本大震災支援活動に参加。

平成26年から同NPO法人の代表理事に就任し、平成27年からは毎年1月17日に神戸市中央区東遊園地にて行われる追悼行事「阪神淡路大震災1.17のつどい」実行委員長に就任。

趣味はスキーと映像編集。